



卒業式

今年度の卒業式が、3月1日午前9時から体育館で行われました。今年は男子47名、女子31名の計78名が卒業しました。

学校長からは式辞で、米国の詩人ロバート・フロストが残した作品の中にある「森の中の分かれ道で私は、人があまり通っていない道を選んだ。そのことがどれだけ私の人生を変えたことか。」をあげ、自分の選んだ道が素晴らしい選択であったと思えるようにするためには、常に夢を持ち続けることが大切だという話がありました。また、吉田松陰の「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」という言葉もあげ、逆境にあってもそれを跳ね返す、しなやかで折れない心を持つことが大切であるという話もありました。

送辞では2年生の伊森安美さんが、体育祭、文化祭、球技大会、クラブ活動の思い出を語りながら、先輩たちと過ごした日々を振り返り、その思い出を熱く語ってくれました。最後に「百年目という節目の年に卒業して行かれるみなさんから、私たちが在校生は伝統のバトンを受け継ぎ、串本古座高校の新しい百年を築くために、がんばっていきます。」と語り、締めくくりました。

答辞では3年生の北浦佑菜さんが3年間を振り返り、自分を高めてくれたと語り、クラブ活動での体験を語り、早く感じるのは、友達と過ごした日々が充実していたからでしょう」と語り、あらためて日々の日常生活を懐かしみ、最後に、在校生には、「これから先、悩んで投げ出したくないのである」と思いますが、決して一人で抱え込まないで下さい。皆さんの周りには、必ず助けられる人がいます。そんな人たちの存在を忘れずに、有意義な日々を送ってください」、家族に対しては「十八年間、私たちが育ててくれてありがとうございます。今度は私たちが立派な大人になって恩返ししていきます。」と熱く語り、締めくくりました。

式後はクラスに戻り、最後のHRが行われ、担任からの最後の話がありました。

卒業した諸君らの今後の活躍を期待しています。



自習環境の整備



来年度に向けて、課外活動棟の2階を自習教室として整備する計画を進めています。これは「くろしお塾」の事業の一環として行うもので、休日にも気軽に利用できるものとしていく予定です。

詳細は4月以降にお知らせしますが、多くの利用をお待ちしています。

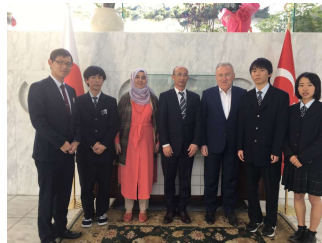
トルコ大使館でのプレゼン

昨年12月にトルコ大使館のご協力を頂いて、校内プレゼン大会を開催しました。校内から4チームが立候補し、そのうちの最優秀グループが3月20日(水)に東京のトルコ大使館に招待され、大使の前で英語による発表を行いました。

大使からは、発表にあった校内避難訓練についてや、提示した資料の積算根拠についての質問がありましたが、すべてうまく説明することができました。

この日は大使館で一泊し、トルコ料理をご馳走になりました。翌日は、国立新美術館で開催されている「トルコ至宝展」を見学、オスマン帝国に由来する品々を見て回りました。

生徒たちは、本当によい経験ができたと思います。ご支援・ご協力を頂いたトルコ大使をはじめとする関係者の方々に、感謝申し上げます。ありがとうございました。



終業式

22日(金)に終業式を行いました。式辞で校長先生から、18日の1年生インターンシップの発表会と19日の学習発表会を例に挙げ、経験が学びであることと、入力と出力(学ぶこととそれを発表すること)の大切さ、その時に俯瞰(ふかん)的な見方が大事であるという話がありました。また、来年度から実施する男女混合名簿の話もありました。最後は、この1年を振り返り、月日はすぐに過ぎていくので「いまやること」が大事であるという話で締めくくりました。

また、諸君らの式前の集合は素早く、先生方よりも早く集まることができました。来年度も、諸君らの活躍を期待しています。



終わりに

今年度のマンスリーはこれが最後となります。一年間ご笑覧頂き、ありがとうございました。来年度もよろしくお祈りします。

なお、3月から4月にかけての日程は、以下のとおりです。

- 3月27日(水) 追募集検査
→26日午後から27日15時まで校内立入禁止
- 4月 4日(木) 離任式(9時~)
- 8日(月) 始業式、新任式(定刻開始)
- 9日(火) 入学式 生徒は家庭学習